

CASIO

INTEGRATED REPORT

2026

カシオ計算機 統合報告書

Purpose — CASIOの存在理由

驚きを身近にする力で、 ひとりひとりに今日を超える喜びを。

Through the power to put wonder at hand, bring new levels of joy to lives one by one.

カシオでは、社内でのパーパス発表以降、各社員、各部門がパーパスと向き合うため、ワークショップなどの取り組みを進めてきました。

その中で明らかになったのは、このパーパスは私たちの目指す場所であると同時に、自然と内包してきた原点であるということ。

パーパスと向き合うことは、自分たちの足元を再確認する作業でした。

今後もカシオの製品がユーザーに驚きや喜びを与えることを目指し、全社一丸となって、人や社会への新たな価値創造の礎を築いていきます。

カシオの製品が目指す喜びの世界



SOUND

音体験で日常に
笑顔があふれる世界



TIMEPIECES

ユーザーが自信を持って自分の
スタイルを楽しめる世界



EDUCATION

誰もが、学ぶことが面白いと
思える世界



NEW BUSINESSES

人生を共にする
事業の創造

Values —

パーパス実現のための価値観、信条

4つの「C」...CASIO創業の精神

「I」...これからの未来を作る社員ひとりひとり

Creativity through unique thinking.

独自の発想にこだわる

Change with joy.

変革を楽しむ

Collaboration for realization.

力を合わせ、実現する

Contribution to society as our stance.

いかなる時も社会への貢献心を貫く

Imagination with empathy.

人の探求こそ、原点

目次

Introduction	01 CASIOの価値創造	02 成長戦略	03 成長を支える経営基盤	Data Section
01 パーパス&バリューズ	05 CASIO at a Glance	11 CEOメッセージ	「経営資本」の増強	65 11年間の財務サマリー
02 目次	07 価値創造の歩み	価値創造のロードマップ	36 人的資本 従業員との信頼・共感関係づくり	66 財務ハイライト
03 編集方針	08 CASIOの価値創造モデル	15 前中期経営計画の振り返り	39 知的資本 技術・ノウハウの「深化と革新」	67 非財務ハイライト
	09 CASIOの資本	16 新中期経営計画の概要	41 製造資本 レジリエントなグローバルサプライチェーンの構築	68 会社情報
		17 財務戦略		69 株式情報
		20 サステナビリティ経営		
		22 CASIOのマテリアリティ		
		事業を通じた「価値創造」	「経営基盤」の強化	
		26 時計事業の戦略	42 DXの推進と情報セキュリティの強化	
		29 EdTech(教育)事業の戦略	44 環境経営の強化	
		31 サウンド(楽器)事業の戦略	47 人権の尊重	
		32 新規事業の戦略		
		33 特集 カシオの創造スピリット	コーポレート・ガバナンス	
			48 取締役会議長メッセージ	
			50 社外取締役座談会	
			54 新任社外取締役メッセージ	
			55 コーポレート・ガバナンス	
			63 リスクマネジメント/コンプライアンス	

編集方針

本報告書は、株主・投資家をはじめ、カシオグループのすべてのステークホルダーの皆様へ、カシオが目指す将来像と、その実現に向けた戦略や取り組みの進捗をお伝えすることを目的としています。事業活動や経営資本、経営基盤に関する財務・非財務情報を統合的に開示することで、カシオの価値創造の取り組みを共有し、ステークホルダーの皆様との建設的な対話の促進を目指しています。

編集にあたっては、IFRS財団の「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省の「価値協創のための統合的開示／対話ガイダンス2.0」を参照しました。

今年の統合報告書のポイント

ポイント ①

新中期経営計画に基づく成長戦略の明確化

新中期経営計画と連動し、今後3カ年の重点施策や各事業の戦略を具体的に掘り下げることで、新たな市場や顧客の創出に向けた成長の道筋を示しています。

ポイント ②

成長戦略を支える価値創造の源泉の紹介

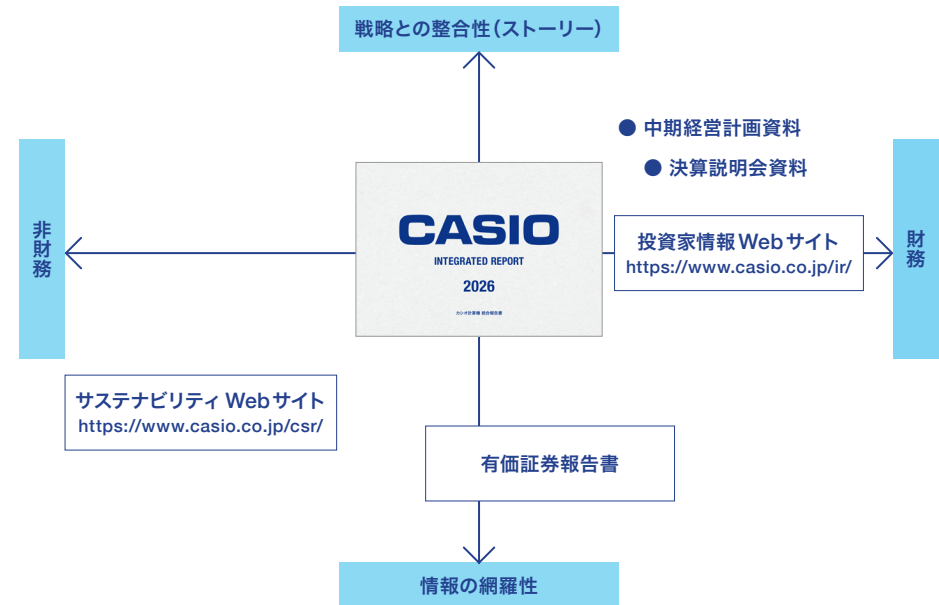
創業以来培ってきた独自の発想力や技術力をはじめとする当社の強みについて、その形成の歴史と未来に向けた成長へのつながりを紹介しています。

ポイント ③

ガバナンスに関する開示の充実

取締役会議長メッセージや社外取締役座談会を通じて、取締役会の実効性や、中期経営計画の実現を支える監督機能について具体的にお伝えしています。

情報開示の位置付け



報告対象範囲など

対 象 読 者：カシオグループのすべてのステークホルダーの皆様

対 象 期 間：2025年度(2025年4月1日～2026年3月31日)

※一部に2026年4月以降の活動内容などを含みます

報告対象組織：カシオ計算機株式会社および国内外のグループ会社

発 行 時 期：2026年10月

見通しに関する注意事項

本報告書の業績予想に関する記述および客観的事実以外の記述に関しては、カシオが本報告書発行時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、カシオの事業を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどにかかわるさまざまな要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があることをご承知おください。